



津別町長 佐藤 多一

## マチにあかりが灯る

町民の皆さま、新年明けましておめでとうございます。輝かしい令和6年の新春を穏やかに迎えたいこととお慶び申し上げます。さて、5期目の1年を終え2年目を迎えました。2020年1月に国内初の新型コロナウイルス感染症が検知され、その後、ウイルスとの長い戦いが続きました。そして今、完全な収束には至らないまでも、ようやく社会活動に活気が出てきたところです。

また、昨年は「戦」の絶えない年でした。一昨年2月にロシアがウクライナに侵攻し、その戦争は間もなく2年になるうとしています。昨年10月にはパレスチナ・イスラエル戦争が勃発し、この他にも世界のあちこちで絶え間なく紛

争が続いています。戦争の被害者は非戦闘員にも及び、額から血を流す子どもの映像は見るに堪えません。生まれた国の幸・不幸を考へさせられながら、このような状態が一刻も早く収束することを願うばかりです。

さて、津別町は現在、これからも町が存続していくよう、まちなかを再生する事業を進めているところです。その一つとして昨年、大通地区にスーパー、図書館、交通拠点を複合した「大通棟（ウッドリーム）」が完成しました。今年にはサツドラ、北海道つべつまちづくり会社、移住相談コーナーなどを複合した「幸町棟」を建設する計画です。これにより、まちなか再生基本計画に位置付けられたコミュニティゾーンの整備はすべて完了しますが、昨年までに役場

新庁舎および消防署庁舎からなる町民サービスゾーンの整備も完了したこと、来年は次なるゾーンの整備に向けて取り組みを進めていくこととなります。

町に夜の帳が下りるころ、大通棟、JA新事務所、そして役場新庁舎にあかりが灯ります。近くのおさんさん館からの柔らかなあかりに加え、町が少し都会風に見えるようになりました。今年はこちらにウクライナの国旗のような青色と黄色のサツドラのあかりも加わります。

道路一本横の幸町通り商店街も店じまいが続いていましたが、ここ数年の間に三つのあかりが灯るようになりました。週に一度バーになるコワーキングスペース、コーヒーを自家焙煎するカフェ、そしてゲストハウスの三つです



津別町議会議員 鹿中 順一

## 町民が安心して暮らせるまちに

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまには、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

令和2年に国内で初めて確認された新型コロナウイルス感染症は、その後感染の波が繰り返されていきましたが、昨年5月5日類感染症に移行となりました。厚生労働省によると、医療の供給体制は、通常医療との両立をさらに強化し、重点的・集中的な支援により、冬の感染拡大に対応しつつ、通常の医療提供体制へと段階的に移行する考え方としています。

このような中、日常生活では、3密を避けること、換気、手洗いなどの新型コロナウイルス対策「5つの基本」の実践、ワクチン接種など、今後も皆さまとともにしっかりと感染対策に取り組んでいかなければ



# 新年賀謹

ばなりません。

昨年の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行による、経済活動や社会活動の一層の緩和、インバウンド需要の増加などから、回復基調となってきました。一方、ロシアによるウクライナへの侵攻や、中東情勢のさらなる悪化が懸念されるなど、世界情勢の不安や円安によるエネルギー、食料品等の価格が高騰し、私たちの生活に大きな影響を与えており、先行きが見えない状況となっております。

昨年3月に開催された第5回ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)では、日本チームがメジャーリーグや国内で活躍する代表選手の見事な活躍により優勝を手にし、明るいニュースとなりました。日本中が歓喜に包まれ、日本チームの活躍はたくさんの方々の勇

と感動、喜びを与えてくれました。

さて、本町においては、昨年はさまざまなイベントや事業が再開され、多くの町民の笑顔を見るのが出来ました。夏まつりや、七夕まつり、産業まつりなども開催され、夏まつりにはファイターズガールも参加し、町内外から多くの方々会場を訪れ、賑やかでも楽しい1日となりました。

交流事業では、船橋市や南アルプス市との青少年交流をはじめ、高校生のニュージールランド研修、台湾二水郷との交流事業も再開されました。今後は子どもたちの交流、研修等、学ぶ機会が増えることをうれしく思っています。

また、11月には、まちなか再生事業によりコミュニティゾーンに整備を進めてきた大通地区コミュニティ施設「ウッドリーム」のオープン式典が行われました。5

が、いずれも空き店舗をリノベーションしたものです。夜にこの通りを歩くと窓からもれるあかりに心が和みます。これらはすべて、この町に移住された方たちと、リノベーションに参加された方たちのおかげによるものです。

人には「家」という第一の居場所と「職場や学校」という第二の居場所があります。そして今、コミュニティゾーン内に「サードプレイス」という三つ目の居心地の良い居場所をつくっています。図書館の利用も増えていきます。ぜひ多くの町民の皆さまに足を運んでいただきたいと思っています。

今年の干支は「辰」です。この年は世の中が活力旺盛に大きく成長し、形が整う年と言われています。戦争や円安などの影響により、物価の上昇が続いていますが、皆さまの懐具合が少しでも良くなり、豊かさが感じられる年になつて欲しいと思っています。

結びに、町民の皆さまにとりまして、本年が良い年となりますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

月には買い物拠点の「グリーンマート」、7月には「図書館」がオープンし、11月に交通拠点のバスターミナルやハイヤー会社の運行が開始されました。町民の皆さまの足の確保も整備され、買い物拠点や図書館、積木広場など、多くの町民の皆さまに利用していただきたいと思えます。令和6年度には幸町棟の整備も開始され、住民の生活環境が一層充実されることとなります。

議会としてもこの町に住まわれる町民の皆さま、移住されてくる皆さまがより良い環境で生活が送れるよう、行政と議論を重ねて参ります。

人口減少や少子高齢化の問題は多くの自治体が抱えている問題であります。そのような中でも、町民の皆さまが健康で安心して暮らせるまちに向け、子育て環境、医療・福祉、買い物環境や移動手段などのさらなる充実に向け、さまざまな課題に対応すべくまちづくりに取り組む必要があります。

議会としても、町民の皆さまの声が町政に反映され、豊かな暮らしを実感できるまちづくりを進めていくため、責任と役割を果たしていく所存であります。

結びになりますが、本年が町民の皆さまにとって明るく希望ある一年となりますとともに、皆さま方のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。